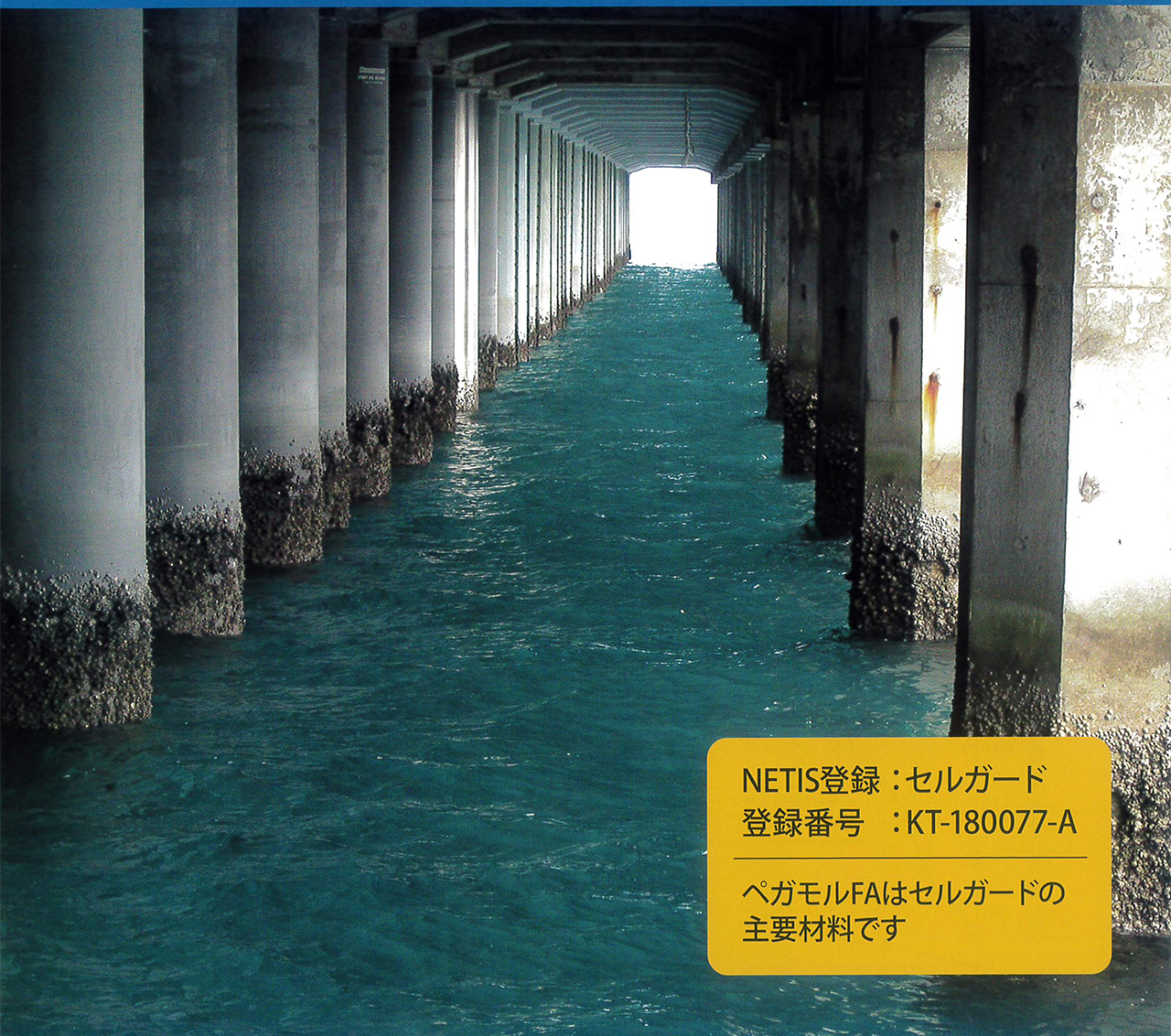


ペガモル FA[®]

フライアッシュ入りポリマーセメントモルタル
緻密なモルタルでコンクリート構造物の再劣化を防止します



NETIS登録：セルガード
登録番号：KT-180077-A

ペガモルFAはセルガードの
主要材料です



ペガサス株式会社

ペガモルFA (左官、吹付) の使用用途

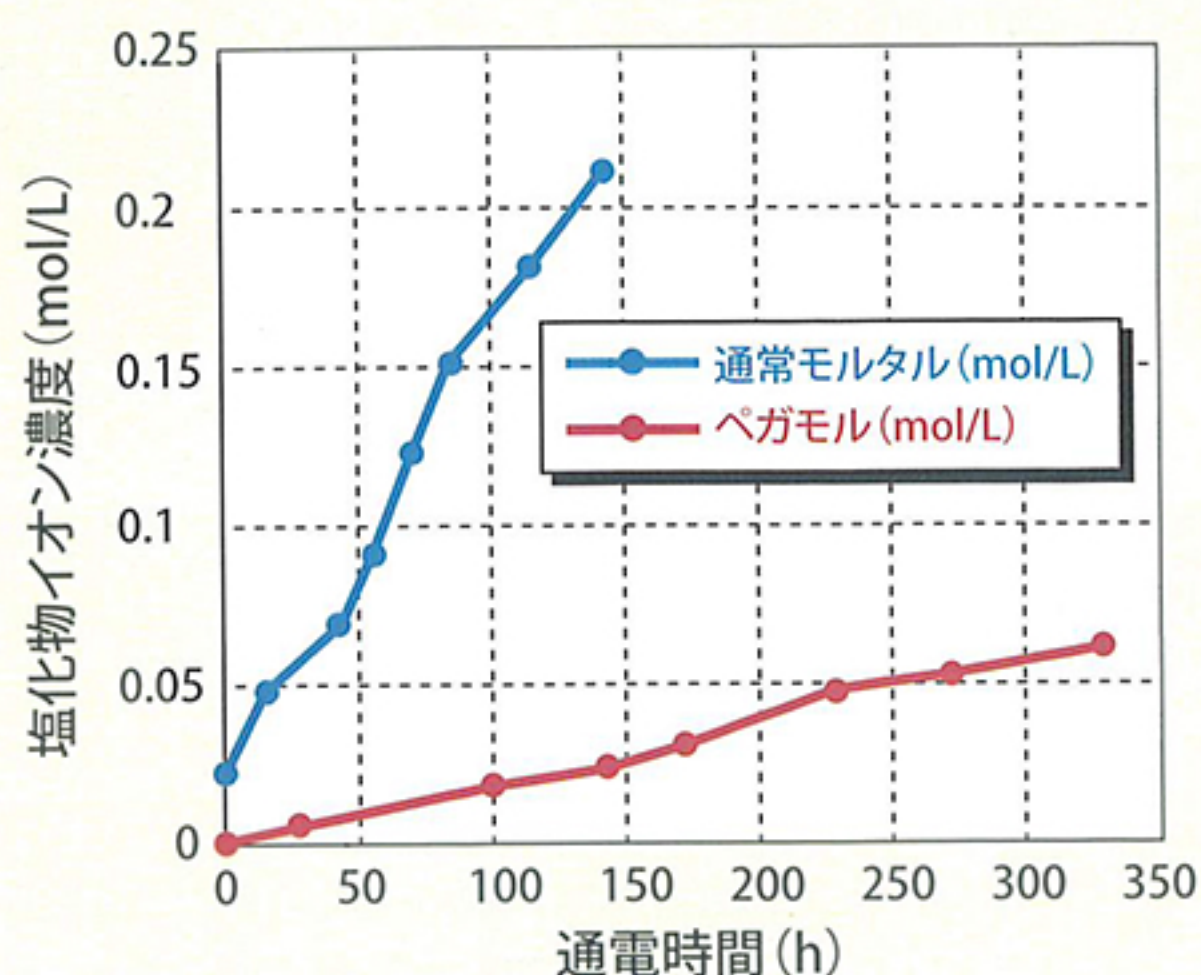
- 1 建築、土木を問わず、全ての鉄筋コンクリート構造物に対して左官や吹付の補修モルタルです。
- 2 補修部分及びその周辺の再劣化を強力に防ぐ工法として最適です。
- 3 特に海岸に近い場所にある構造物の塩害防止には有効な工法です。
- 4 水がしみ込みにくく、凍害が懸念される寒冷地での補修や施工時の初期凍害を防ぎます。

ペガモルFAの特長

- 1 フライアッシュ (FA) を使用したモルタルで、ポゾラン反応が時間と共に進むため、強度が増すと同時に、緻密な組成となります。
- 2 補修部分が緻密であるが故に、塩化物、硫化物、炭酸ガス、水、空気その他の鉄筋を錆びさせる原因物質の侵入を少なくします。
- 3 ペガサビンを混和 (セルガード工法) することによって、鉄筋表面に「不動態被膜」が形成され、より強固に鉄筋の錆の進行を阻止します。
- 4 リターダー添付しており、モルタルの硬化時間を調節できます、これにより施工効率の向上を図れます。
- 5 アルカリシリカ反応の抑制、化学抵抗性の向上が期待出来ます (フライアッシュ協会の資料から)

ペガモルFAの遮塩性能試験

- 1 塩化物(Cl^-)の浸透量は通常モルタルの1/8程度となっています。



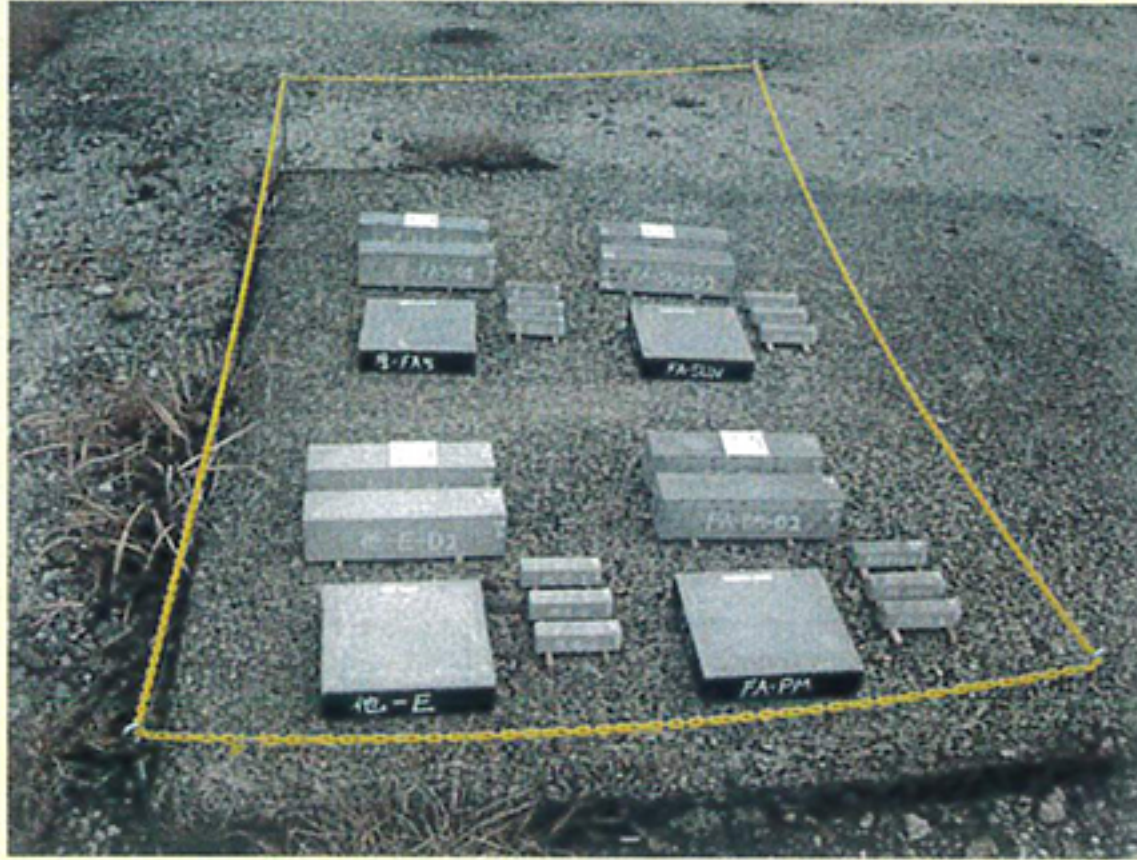
試験結果



試験状況

寒冷地の暴露試験と室内試験

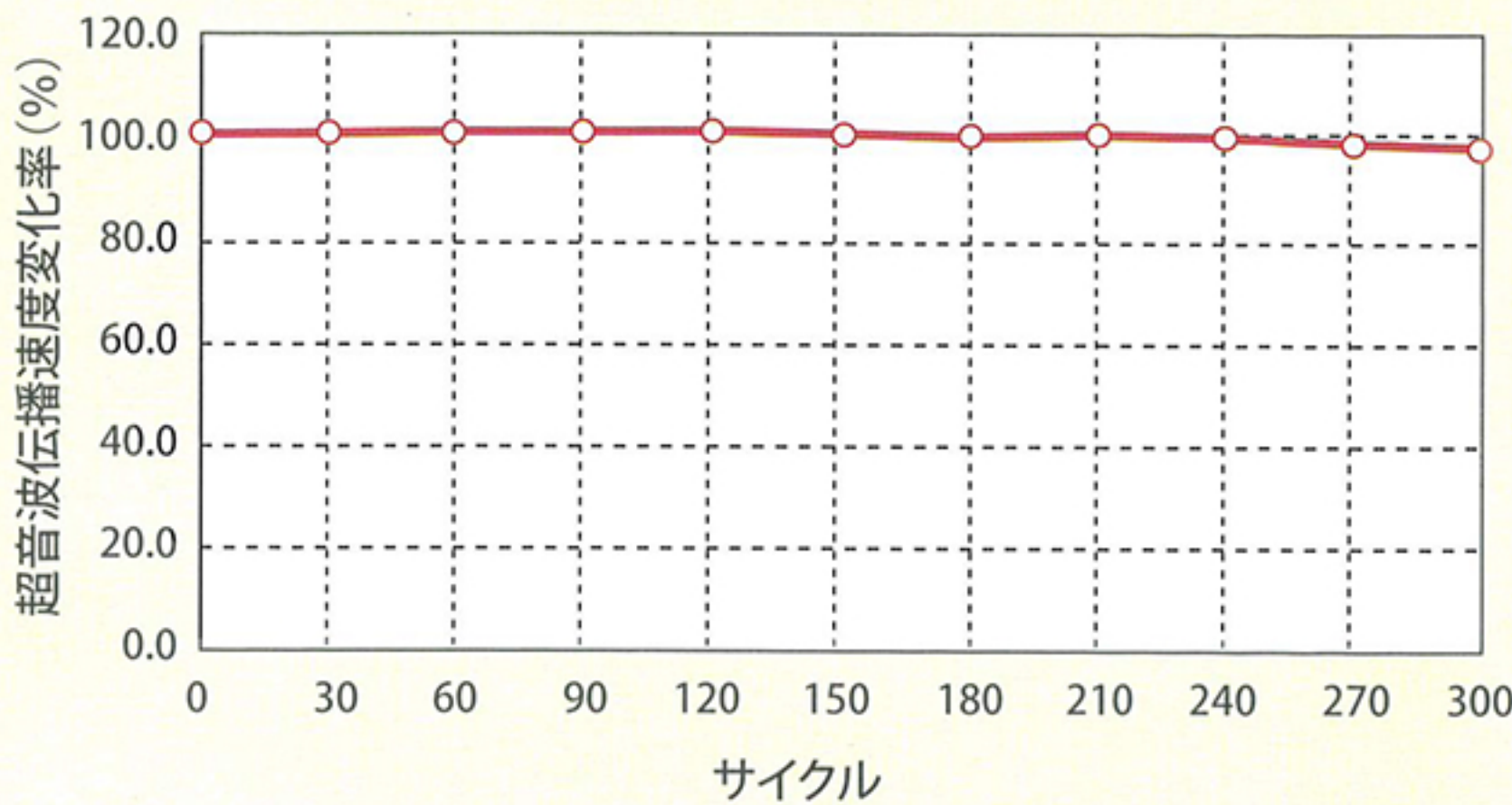
- 1 35か月(約3年後)の目視検査でもひび割れもなく、変状が見られない。
- 2 室内試験では300サイクルの凍結試験をクリアしています。



試験体設置状況



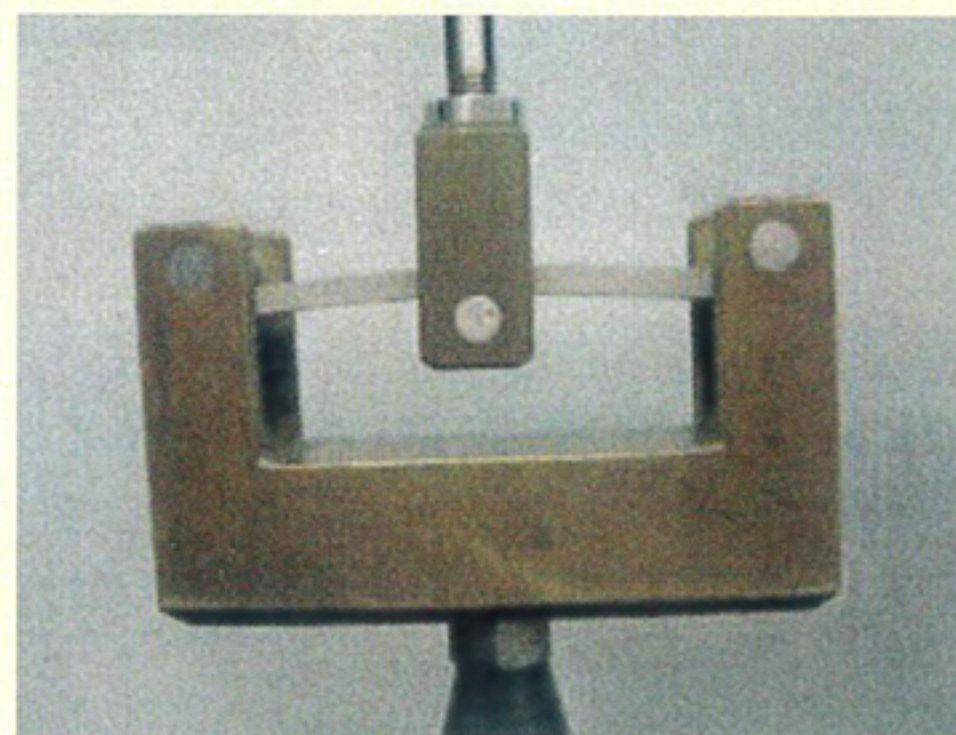
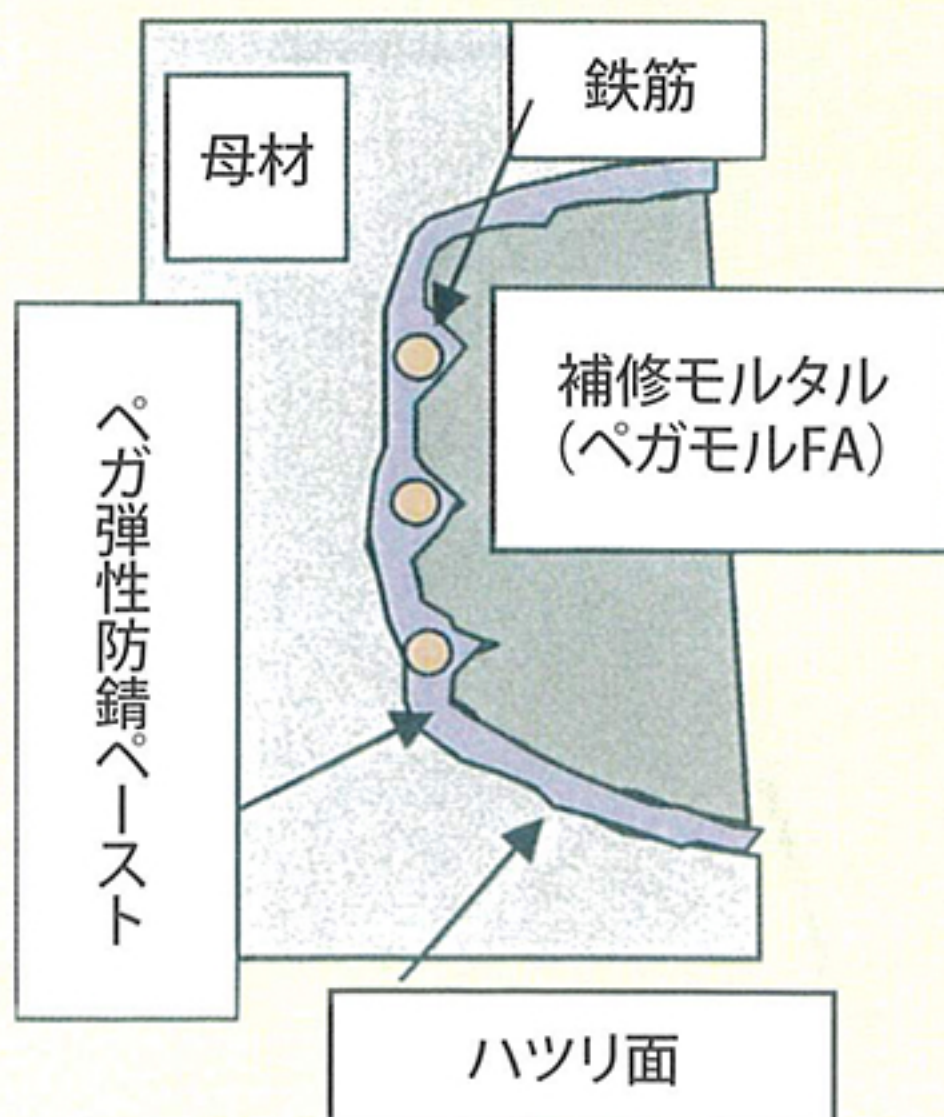
35ヶ月後の付着試験用平板、4×4×16、10×10×40試験



- ※ 1 室内試験はJIS A 1148による
- ※ 2 リターダーを少なめにして硬化速度を速めれば、初期凍害を避けられます。

モルタルの剥がれ防止対策もできます

- 1 材料の乾燥収縮、温度変化等の要因で補修部分が剥がれることがあります。特に天井面は重力の影響で年数が経過するとはがれやすくなります。この場合は下地材として、弾力的な材料を用いることが有力な対策となります。専用モルタル(ペガモルFA)を用意しています。



たわみ試験

たわみ試験では非弾性タイプに比べておよそ8倍の耐たわみ性を有します。

その他モルタル商品のご紹介

記号	商品名	特性	工法
M1	ペガモルFA (左官吹付)	FA入りでかつ速硬性の緻密モルタルです。圧送は20mまで可能	左官、吹付
M2	ペガモルFA (吹付)	上記の特性を持ち、吹付で20~40mの圧送が可能	吹付専用
M3	ペガモルFP	乾燥収縮率が小さく、流動性が高い	左官
M4	ペガモル厚塗	一般の左官補修モルタルで、寒冷地に適用可能	左官
M5	ペガモル厚塗 (セット)	上記の特性を持ち、エマルジョンをセットとしています	左官
M6	ペガモル薄塗	壁などのひび割れを埋めると同時に、壁などの色調を統一します、ペガサビンを混和して、鉄筋を防錆	左官
M7	ペガ弾性ペースト	補修工事の第1層として、使用すれば、鉄筋の防錆と乾燥収縮、温度変化による剥がれを防げます	左官
M8	Sクリートカラー	超微粒子セメントの作用でひび割れを埋めると同時に壁面などの色を綺麗に出来る無機材料で。	他社品
M9	PMプライマー	5倍希釈してプライマーとして使用できます	他社品
M10	マジカルリペラー	コンクリート表面に塗布すれば、防水効果があります	他社品



ペガモルFA



ペガモルFP



ペガ弾性ペースト

開発協力会社
 株式会社ジェイペック 環境・資源リサイクル事業部
 製造・販売元
 ペガサス株式会社
 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-7 六甲第二ビル 10F
 TEL:03-6222-8058 FAX:03-6222-8059
 Email: info@pegasus-co.jp
 URL : http://www.pegasus-co.jp



販売代理店